

最先端最高水準の地域医療福祉 ICT ネットワークシステム「Salus Vision(通称サラス)」

私たちは、平成 15 年 8 月 27 日、遠隔ケアシステムに関するビジネス特許(出願番号:2003-302676)を特許庁に申請し、平成 17 年度～平成 23 年度の間、2 回続けて日本学術振興会科学研究補助金(基盤研究 B)を得て、阿南町社協で臨床試験を繰り返し、現時点で**最先端最高水準の遠隔ケアシステムのプロト版を完成**させ、今年度から新たに 4 年間「里山における災害被災者支援のための遠隔ケアシステム構築に関する研究」で数少ない同科学研究費補助金の基盤研究 A(総額約 3,000 万円)に採択されました。

サラスを活用して、へき地・災害被災地域の医療の質確保・効率化、買い物弱者等への総合生活支援を通じた地域再生活活性化に引き続き取り組んで参ります。

さらにサラスの機能は、生産者と消費者の距離を飛躍的に縮め、**消費者・利用者の「拡大」と「囲い込み(エンクロージャ)」を同時に実現する流通革命さえ可能な究極のビジネスツール**です。私たちは、信州発の「ICT ネットワークシステム」として、より多くの方々に役立つよう利用の幅を広げて参ります。

*サラス(Salus)・・・ギリシャ神話の健康と安全の女神

サラスの HP : <http://www.nagano-nurs.ac.jp/irc/kouken/enkaku/index.htm>

地域医療福祉 ICT ネットワークシステム

「Salus Vision(サラス)」のイメージ

**Dicom(医用)
Data の活用可**



**タブレット PC・スマホ
の活用による Data 共有**



地域医療福祉ネットワーク

Salus Vision

へき地/被災地の地域再生活活性化連携ネットワーク推進事業のイメージ

